

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-58	高等学校	公 民	政治・経済	1～3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	政経 312	高校政治・経済 新訂版		

1. 編修の基本方針

第2条の目標を達成するため、次の通り編集した

- ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、本文記述に関連した最新の話題や動向を「時事」などのコラムとして設けた。また、第3編では、各テーマに対してより深い考察ができるように多角的な視点を提供した（第1号）。
- ・自主及び自律の精神を養うため、抽象的な理論や制度への疑問を自ら解決できるようにわかりやすく解説するコラム「Seminar」を設けた自学自習に取り組めるようにした（第2号）。
- ・正義と責任や公共の精神に基づいて、主体的に社会の形成に参画しその発展に寄与する態度を養うために、政治の意義と役割、政治参加の重要性を扱うコラム「政治 Q&A」を設けた（第3号）。
- ・生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うために、地球環境問題と国際的な取り組み、自然との共生についての記述を掲載した（第4号）。
- ・伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を涵養するため、また、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、我が国の領土に関する内容のほか、日本の対外援助や国際交流についての記述を掲載した（第5号）。

2. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し	・生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、我が国で導入が進む再生可能エネルギーを取り上げ、その現状について理解できるようにした（第4号）。	前見返し 1～2
第1編第1章	・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、民主政治の歩みと発展や各国の政治制度について記述した（第1号）。	p. 4～19
第1編第2章	・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、大日本帝国憲法を起点として、日本国憲法の成立を取り扱い、我が国に立憲主義が定着していく過程と、日本国憲法の基本原理を記述した（第1号）。	p. 20～25

<p>第1編第2章 (つづき)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、安全保障の在り方、世界平和の在り方と日本国憲法の平和主義の意義について記述した。(第5号)。 ・男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神を涵養する観点から、日本国憲法の定める基本的人権について記述した(第3号)。 	<p>p. 26～34</p> <p>p. 35～52</p>
<p>第1編第3章</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、我が国の統治機構について記述した(第1号)。 ・正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる観点や、今後裁判員に選出されたときの参考に資するように、司法の役割や裁判の流れなどを記述した(第1号, 第3号)。 ・公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、地域コミュニティの維持や再生の取り組みに関するコラムを設けた(第3号)。 	<p>p. 53～67</p> <p>p. 62～67</p> <p>p. 73</p>
<p>第1編第4章</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の価値の尊重や自主及び自律の精神を養う観点から、選挙制度と投票行動の意義について扱った。とくに、選挙権年齢の引き下げが検討されていることも踏まえて、若年層が選挙に参加する意義については、コラムでとくに詳述した(第2号)。 	<p>p. 78～83</p>
<p>第1編第5章</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、さらに他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、国家間の政治における動向を記述した(第1号, 第5号)。 ・生命を尊ぶ観点から、軍拡・軍縮問題、人種・民族問題についてはとくに詳述した(第4号)。 ・他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、我が国の国際貢献の在り方について記述した(第5号)。 ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、我が国の領土に関する内容を詳述した(第5号)。 	<p>p. 84～109</p> <p>p. 99～106</p> <p>p. 107～108</p> <p>p. 109</p>
<p>第2編第1章</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、経済活動の意義と経済思想の変遷など、経済理論について十分に記述した。 	<p>p. 110～118</p>
<p>第2編第2章</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、市場の働きと金融・財政などについて十分に記述した。また、とくに税制改革については特集ページを設け、現状と課題を深く考察しながら、世代間の公正も踏まえた租税負担について思考できるように工夫した(第1号)。 ・自主及び自律の精神を養う観点から、経済理論について、自ら疑問を解決できるようにわかりやすく解説したコラムを設けた(第2号)。 	<p>p. 119～146</p> <p>p. 129, 136, 138</p>

第2編第3章	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、これまでの日本経済の成長過程と今後の成長の在り方について記述した（第1号）。 	p. 147～154
	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、中小企業・農業、消費者問題、労働問題、社会保障問題など、日本経済の特質と国民生活について十分に記述した。また、とくに社会保障制度について詳述しており、あるべき福祉社会の姿を考察・思考できるように工夫した（第1号）。 	p. 155～185
	<ul style="list-style-type: none"> 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、伝統技術を生かした中小企業の事例や、6次産業の事例について記述した（第5号） 	p. 156, 158
	<ul style="list-style-type: none"> 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うために、とくに四大公害以降の公害関係法整備、循環型社会の形成に向けてのあゆみを記述した（第4号）。 	p. 163～166
	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点のほか、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、地球環境問題と国際的な取り組み、自然との共生についての記述を掲載した（第1号、第4号）。 	p. 167～171
	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点のほか、生命を尊び、自然を大切にし、環境保全に寄与する態度を養う観点から、エネルギー政策に関する記述を掲載した（第1号、第4号）。 	p. 170
第2編第4章	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、国際経済のしくみや動向、金融のグローバル化、地域経済統合の動向や新興国の現状と課題について記述した（第1号）。 	p. 186～212
	<ul style="list-style-type: none"> 自主及び自律の精神を養う観点から、国際経済のしくみについて、自ら疑問を解決できるよう、わかりやすく解説するコラムを設けた（第2号）。 	p. 187, 190
	<ul style="list-style-type: none"> 他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、貧困削減への取り組みや我が国のODAなど経済協力について記述した（第5号）。 	p. 209～212
第3編	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点のほか、自主及び自律の精神を養う観点から、前編までに学習した内容に関連した政治・経済の課題を取り上げ、その望ましい課題を考察し、自らの言葉で表現する課題を設定した（第1号、第2号）。 	p. 214～233

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 学校教育法第五十一条三項（社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと）に則して、本文記述や課題例など教科書全体を通じて、生徒が物事を多面的に理解・解釈し検討を重ねていけるよう、とくに配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-58	高等学校	公 民	政治・経済	1～3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	政経 312	高校政治・経済 新訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

現代の政治・経済・国際関係の動向や本質を把握し、客観的な視点から主体的に考察・判断できる能力と態度を育てるという「政治・経済」の基本目標に鑑み、生徒が興味をもって学習を深めていけるように、以下の点についてとくに配慮した。

- 1) 重要用語や難解な専門用語については、注を付し、丁寧に解説した。
- 2) 学習内容が実生活・実社会に関連付けられるように、生徒にとって身近で具体的な話題を多く取り上げた。また、時事的な事例も「時事コラム」を中心に積極的に扱った。
- 3) 生徒が社会的事象に客観的かつ公正なものの見方や考え方ができるように、統計資料を豊富に掲載し、また理解の助けとなるように、適宜解説を付けた。
- 4) 政治や経済の抽象的な理論や仕組みについては、コラム形式でよりわかりやすく解説した。
- 5) 領土問題については国内外の事例を紹介したうえで、日本に関する問題の所在と平和的解決が模索されていることを、地図を交えて詳述した。
- 6) 生徒が政治の意義と役割を知り、政治参加の重要性を理解することができるように、コラム形式の解説を設けた。
- 7) 生徒が現代社会の諸課題に対し、幸福・正義・公正といった諸観点に基づいて主体的に考察し、また、生徒が学んだ知識を活用して自ら課題を発見し、その解決に向けて探求し、成果などを表現するための思考・判断・表現力を養うため、適宜「Challenge」を配した。
- 8) 生徒が、思考・判断・表現力を発揮してレポート作成をまとめ上げるための助けとなるように、小論文の書き方を解説するページを設けた。
- 9) グローバル化が進む現代社会において、日本国内の諸現象のみならず、世界全体の課題について探求できるように配慮した。
- 10) 公民的素質を養うために、全編を通じて生徒の問題意識に訴えかける文章を多用したほか、平和と人権を重視する視点を貫いた。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 現代の政治	(1)現代の政治		2 2
第1章 民主政治の基本原則	ア 民主政治の基本原則と日本国憲法	p. 4～19	5
第2章 日本国憲法の基本的性格		p. 20～52	4
第3章 日本の政治機構		p. 53～73	4
第4章 現代日本の政治		p. 74～83	4
第5章 現代の国際政治	イ 現代の国際政治	p. 84～109	5
第2編 現代の経済	(2)現代の経済		2 2
第1章 経済社会の変容	ア 現代経済の仕組みと特質	p. 110～118	3
第2章 現代経済のしくみ		p. 119～146	5
第3章 現代経済と福祉の向上		p. 147～185	8
第4章 世界経済と日本	イ 国民経済と国際経済	p. 186～212	6
第3部 共に生きる社会をめざして	(3)共に生きる社会を目指して	p. 200～201	1 0
1 地域社会の変貌と住民生活	ア 現代日本の政治や経済の諸課題	p. 214～215	
2 中小企業の新しい変化		p. 216～217	
3 農業、農村と食料、環境問題		p. 218～219	
4 雇用と労働をめぐる問題		p. 220～221	
5 これからの社会保障のあり方		p. 222～223	
6 地球環境の保全と経済成長		p. 224～225	
7 原子力と再生可能エネルギー		p. 226～227	
8 人種・民族問題	イ 国際社会の政治や経済の諸課題	p. 228～229	
9 国際経済格差の是正と国際協力		p. 230～231	
10 国際社会における日本の立場と役割		p. 232～233	
		計	5 4